

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名(英)	国際教育学 (International Education)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	ILC Michael Earnest
学科	理学療法科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
コース	昼間Ⅰ部					曜日・時限	木・3

【授業の学習内容】

患者が来院して、外来受付から各科での受診、検査、治療、会計までの各場面で基本的な英語コミュニケーション力を習得するため、基本語彙や重要表現を「聞いて理解できる」「話すことができる」「読んで理解できる」「書いて表現することができる」ように、座学、ロールプレイ、CDによる音声により学習する。

実務者経験：TESOL(英語教授法)の修士号を取得し、2002～2009年まで英語非常勤講師として教育に携わる。2010年より（株）国際教育社において専門学校での英語教育（基礎英語、ビジネス英語、医学英語）に携わる。

【到達目標】

病院現場での英語での会話を理解し、英語での対応が必要な状況で貢献できるようになる。授業中のコミュニケーション練習により一般病棟や理学療法士科での英語話者である患者の診察、援助、指示する際に必要となる英語のインプット、アウトプットの両方の能力を養う。

授業計画・内容

1回目	Ch. 1.1 オリエンテーション、受付について説明できる。
2回目	Ch. 1.2 病院内内ができる。患者に丁寧に依頼することができる。
3回目	Ch. 3.1 症状 (1) 体の部位を説明できる。痛みについて質問できる。
4回目	Ch. 3.2 症状 (2) 患者の状況を確認できる。
5回目	Ch. 4.1 問診 (1) 風邪、インフルエンザの症状を説明できる。患者の症状について質問できる。
6回目	Ch. 4.2 問診 (2) 患者の症状の詳細を確認できる。
7回目	Ch. 7.1 内科 (1) 命令形を使って、治療について患者に指示できる。
8回目	Ch. 7.2 内科 (2) 条件文を使って、丁寧に患者に指示できる。バイタルサインを測定できる。
9回目	Ch. 13.1 リハビリ治療について説明できる。
10回目	Ch. 13.2 患者がリハビリ治療を受ける際、患者に指示をしたり、質問したりすることができる。
11回目	Ch. 14.1 リハビリ治療用の機器の名称、筋肉の名称を知る。
12回目	Ch. 14.2 リハビリ治療用の機器の使い方を説明できる。
13回目	Ch. 16.1 数字の言い方を学ぶ。会計に使う表現を理解できる。
14回目	Ch. 16.2 会計について説明できる。
15回目	復習
16回目	定期試験

準備学習
時間外学習

授業の前に、教科書をよく読み、予習が必要。

評価方法

- | | |
|-----------------|---|
| 1. 定期試験 (100 %) | 評価方法はGPA制度となります
100～90点 S
89～80点 A
79～70点 B
69～60点 C
59点以下 F 不合格 |
| 2. 小テスト (%) | |
| 3. レポート (%) | |
| 4. 課題成果 (%) | |
| 5. 実地試験 (%) | |

受講生への
メッセージ

受身の姿勢ではなく、自分から発信し、積極的な姿勢で授業に参加してください。
英語を楽しく学びましょう。分からない時は遠慮せずに先生に質問してください。

【使用教科書・教材・参考書】

医療英語コミュニケーション 国際教育社

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	情報社会学 (Information Processing)	必修 選択	必須	年次	1年次	担当教員	佐久間 潔
学科	理学療法科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
コース	昼間部 (I 部)					曜日・時限	金曜・3時限
【授業の学習内容】 1.授業内容 セキュリティとPCの基本操作を学ぶ。特にMicrosoft Office製品 (Word,Excel,PowerPoint) 2.授業方法 WindowsPCを使用し、演習授業を通じてPCを活用するスキルを習得する 3.他の授業との関係 すべての授業科目でのレポート作成・レポート提出に活用できるようにする							
【到達目標】 学生にとって身近な素材を使って文書作成、表計算、グラフ作成、プレゼンテーションのためのスライド作成など、社会現場で必要な実践力を養うとともに、情報社会でのリスクに対応できるスキルを身につける。 1.☑インターネットを含むネットワーク社会でリスク感性を醸成し、多くのオフィスツールの効率的な活用ができる。 2.パワーポイントを使用した人前でのプレゼンテーションができる。							

授業計画・内容			
1回目	オリエンテーション		
2回目	パソコンの基礎（WINDOWS11）		
3回目	インターネット　ブラウザの基本操作		
4回目	WORDの入門　基本操作 文章作成と編集		
5回目	WORDの基礎　表作成・編集		
6回目	WORDの応用　オブジェクト挿入　完成形ビジネス文章		
7回目	POWER POINTの入門　基本操作 スライド作成と編集		
8回目	POWER POINTの基礎　レイアウトデザイン		
9回目	POWER POINTの応用　オブジェクトの活用		
10回目	EXCELの入門　基本操作		
11回目	EXCELの基礎　基本関数		
12回目	EXCELの応用　集計操作		
13回目	EXCELの活用　シート操作		
14回目	EXCELの活用　データのグラフ化		
15回目	WORD、EXCEL、POWER POINTの連携		
準備学習 時間外学習	日常生活の中にあふれている「情報」に目を向ける。 購入したテキストを進路に合わせて読んで予習・復習することを強くお勧めします。		
評価方法	1．定期試験（％） 2．小テスト（10％） 3．レポート（15％） 4．課題成果（15％） 5．実地試験（60％）	評価方法はGPA制度となります 100～90点　S 89～80点　A 79～70点　B 69～60点　C 59点以下　F 不合格	
受講生への メッセージ	毎回の授業でわからないことはその日に解決する。		
【使用教科書・教材・参考書】 30時間でマスター　WORD&EXCEL2021			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名(英)	心理学 (Psychology)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	横山 純子
学科	理学療法科	授業	講義	総時間	30	開講区分	前期
コース	昼間Ⅰ部	形態		(単位)	(2)	曜日・時限	火曜・3限

【授業の学習内容】

- ・心理学は対人援助をする上での基本的な対応やコミュニケーションにおいて基盤となる知識です。
- ・PT・OTは、対象者の表情や発言、態度などから対象者の内面を推察や援助方法の再検討を行います。
本講義では、理学療法士や作業療法士として対象者に向き合う際に必要な心理学の知識を学びます。
- ・PT・OTの国家試験では、本科目の内容が出題されます。国家試験で求められる知識を中心に講義を行います。

【実務経験】1992年4月～2018年3月まで一般病床、回復期病棟、訪問リハビリテーション、通所リハビリテーション施設等様々な分野において主に身体機能領域に従事。臨床では、心理学的支援が必要な方に多く接してきた。

【到達目標】

- ・心理学の基本的な知識と方法論を理解する。
- ・心理学の基本的知識と方法論のリハビリテーション分野への応用について考えられるようになる。
- ・心理アセスメントの方法を知り、対人援助の際に応用出来るようになる

授業計画・内容

1回目	オリエンテーション（PTOTにとっての心理学を学ぶ必要性について理解できるようになる。）
2回目	心理学における知覚について理解し、リハビリテーション分野への応用について考察できるようになる。
3回目	心理学における記憶について理解し、リハビリテーション分野への応用について考察できるようになる。
4回目	古典的条件付け等学習理論を理解し、説明できるようになる。
5回目	古典的条件付け等学習理論のリハビリテーション分野への応用について考察できるようになる。
6回目	環境に対する心理学的適応について理解し、説明できるようになる
7回目	環境に対する心理学的適応のリハビリテーション分野への応用について考察できるようになる。
8回目	防衛機制について理解し、説明できるようになる。
9回目	転移、逆転移について理解し、説明できるようになる。
10回目	集団心理・集団の構造について理解し、説明できるようになる。
11回目	集団心理・集団の構造のリハビリテーション分野への応用について考察できるようになる。
12回目	WISC, WAISなどの知能検査や発達検査について理解する。
13回目	投影法や質問紙法などの人格検査について理解する。
14回目	カウンセリングについて理解し、説明できるようになる。
15回目	講義全体について復習を行い、試験に向けた対策が出来るようになる。
16回目	試験

準備学習
時間外学習

こまめな復習をするようにしてください。

評価方法

1. 定期試験（100％）	評価方法はGPA制度となります
2. 小テスト（％）	100～90点 S
3. レポート（％）	89～80点 A
4. 課題成果（％）	79～70点 B
5. 実地試験（％）	69～60点 C
	59点以下 F 不合格

受講生への
メッセージ

心理学を理解すると対人援助をする時に役立つことが多く、職を得た時には必ず役立つと思います。

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	教養演習 (cultural subject)	必修選択	必修	年次	1	担当教員	鈴木 和行・榊原 溥
学科	理学療法科	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	前・後期
コース	昼間部 (Ⅰ部)			(単位)	2	金曜日・1限	

【授業の学習内容】

理学療法士として必要な一般教養や医学に関する用語、ヒトの体に関する用語、リハビリテーションに関する用語、国家試験によく出る用語を習得する。また医療人、社会人としての心構えを学ぶ。理学療法実習にむけて表現力や説明力を養うために文章構成などの基本を学びます。

*実務者経験：平成18年4月～平成27年2月まで医療法人寿光会 寿光会中央病院にてリハビリテーション科主任として勤務。平成23年度～平成27年度まで30名の実習生を指導。脳血管リハビリテーション、運動器リハビリテーション、腎臓リハビリテーション、訪問リハビリテーションなどに従事する。

【到達目標】

一般教養や医学に関する用語を記載することができる。医療人、社会人としての基本的な心構えを理解する。患者様、家族、医療スタッフとのコミュニケーションや表現力を身に付ける。

授業計画・内容

1回目	オリエンテーション		
2回目	コミュニケーションの重要性を理解することができる		
3回目	一般教養や医学に関する用語を記載することができる。		
4回目	一般教養や医学に関する用語を記載することができる。		
5回目	ヒトの体に関する用語を記載することができる。		
6回目	ヒトの体に関する用語を記載することができる。		
7回目	リハビリテーションに関する用語を記載することができる。		
8回目	リハビリテーションに関する用語を記載することができる。		
9回目	医学用語を使って相手に説明することが出来る		
10回目	医学用語を使って相手に説明することが出来る		
11回目	医学用語を使って相手に説明することが出来る		
12回目	演習：医学用語を使って相手に説明することが出来る		
13回目	演習：医学用語を使って相手に説明することが出来る		
14回目	演習：医学用語を使って相手に説明することが出来る		
15回目	まとめ		
準備学習 時間外学習	復習として配布資料をまとめる		
評価方法	1. 定期試験 (%) 2. 小テスト (%) 3. レポート提出 70 (%) 4. 課題成果 30 (%) 5. 実地試験 (%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	
受講生への メッセージ	自分が実習、臨床に出た時を考え社会人としての振る舞いや、医療人としての心構えを意識してください		
【使用教科書・教材・参考書】 配布資料			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	自然科学 (Natural Science)	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	串田 三九二・増尾 明
学科	理学療法科	授業形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期、後期
コース	昼間Ⅰ部					曜日・時限	木曜・2限、 火曜・2限
【授業の学習内容】 【生物学】 ・生物の自己調節性（刺激に対して反応し、恒常性を維持する）について展開する。 ・体液の恒常性と血液の働き、免疫機構、自律神経系と内分泌系（ホルモン）による調節などについて述べます。 ※実務者経験：1975年高等教育免許を取得し高等学校教員として勤務、2013年までの37年間にわたり教育に携わる。 【物理学】 ・自然科学の基盤を形成する物理学の手法と論理の特徴を知り、多様な自然現象の中に存在する法則性を理解する基礎を身につける。 ・計算力を身に付け、物理の諸法則を理解することによって、今後の発展学習の基礎を身につける。							
【到達目標】 【生物学】 ・具体的な生命活動の学習を通じて、生物の知識や理解を深め、生命活動のしくみやその意義を説明できる。 ・生物個体の成り立ちを知り、生命を維持するしくみが個体を構成する器官や組織でどのように働いているかを、特に『恒常性』に焦点を合わせ身につける。 【物理学】 ・運動の表し方から運動の法則までを学習し、物理学がどのような手法で自然を探求してきたかを関連づけることができる ・ニュートン力学を確立するまでの歴史をたどり、日常経験と物理学の考え方との融合を目指すことができる ・物理学の基礎分野である力学について学習し、力と運動の関係性を理解し説明することができる							
授業計画・内容							
1回目	体内環境について説明することができる。						
2回目	酸素と二酸化炭素の運搬について説明することができる。						
3回目	生体防御について説明することができる。						
4回目	腎臓と肝臓の構造と働きについて説明することができる。						
5回目	刺激の受容と反応について説明することができる。						
6回目	神経による調節について説明することができる。						
7回目	ホルモンによる調節について説明することができる。						
8回目	自律神経系と内分泌系の協調について説明することができる。						
9回目	運動観測の手法および計算方法を説明することができる。						
10回目	等速直線運動、等加速度直線運動の公式を理解し、時間と運動の関係性を説明することができる。						
11回目	物体に働く力の表記方法を理解し説明することができる。						
12回目	物体が静止するための条件を理解し、説明することができる。						
13回目	力の合成、分解、つり合いについて理解し、説明することができる。						
14回目	剛体の回転運動について理解し、説明することができる。						
15回目	力のモーメントやてこの種類について学び、説明することができる。						
16回目	試験解説						
準備学習 時間外学習	単元を一つ一つ復習し、分からないところは次回に質問できるようにしましょう。 物理法則を理解するにあたり、数学の知識が必要となります。分数や一次関数等の数学知識が不足している場合には、講義時間外に学習し、理解できるように取り組みましょう。						
評価方法	1. 定期試験（100％） 2. 小テスト（％） 3. レポート（％） 4. 課題成果（％） 5. 実地試験（％）		評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格		解剖学・生理学の履修に必要な生物学の基礎知識について学びます。 運動や力について知り、様々な現象に関して理解を深めます。		
受講生への メッセージ	生物学では、私たちの体内の器官や組織で行なわれている生命活動を学びます。特に恒常性の分野は、国家資格の取得に関係する科目を学ぶための基礎・基本となり、これからの専門科目を学ぶ上で理解を深めることになります。専門職の技能を高めるためにも必要な基礎科目として、生物学の学習に取り組むことが大切です。 物理の法則は数学を使って表現されるため、数量計算や公式が多く出現する。一つ一つの法則や考え方をしっかり理解し、演習によって理解度を確認しながら学習をすすめることが大切である。						
【使用教科書・教材・参考書】 「視覚でとらえるフォトサイエンス生物図録」 鈴木孝仁 監修 数研出版 P T・O Tゼロからの物理学 羊土社							

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	保健体育 (Health and Physical Education)	必修選択	必須	年次	1年	担当教員	理学療法科教員
学科	理学療法科	授業形態	実習	総時間	45	開講区分	通年
コース	昼間部 (Ⅰ部)			(単位)	1	曜日・時限	火曜・3限

【授業の学習内容】

スポーツに伴う身体の変化、障害の発生、予防について学びます。

【到達目標】

1. スポーツ理学療法とはなにか、スポーツ現場で働く講師の先生から技術・知識を習得する。
2. チームスポーツを通してチーム医療につながるコミュニケーション能力を養う。

授業計画・内容

1回目	スポーツ現場の実際、スポーツ外傷、身体機能について実地
2回目	スポーツ現場の実際、スポーツ外傷、身体機能について実地
3回目	スポーツ現場の実際、スポーツ外傷、テーピング効果について（捻挫に対するテーピングの巻き方）
4回目	膝関節、靱帯損傷に対するテーピングの巻き方、トレーニングの仕方
5回目	スポーツ現場の実際、スポーツ外傷、テーピング効果について
6回目	肩関節、肩周囲筋の損傷に対するテーピングの巻き方、トレーニングの仕方
7回目	チームスポーツについて
8回目	チームスポーツについて
9回目	チームスポーツについて
10回目	肘関節の損傷に対するテーピングの巻き方、トレーニングの仕方。手関節、指（つきゆび）に対するテーピングの巻き方
11回目	マシントレーニングの使い方と効果
12回目	マシントレーニングの使い方と効果
13回目	ストレッチボールの使い方と効果について
14回目	障がい者スポーツについて
15回目	障がい者スポーツについて
16回目	障がい者スポーツについて
17回目	障がい者スポーツについて
18回目	障がい者スポーツについて
19回目	障がい者スポーツについて
20回目	チームスポーツについて
21回目	チームスポーツについて
22回目	チームスポーツについて
23回目	チームスポーツについて

準備学習 | 準備運動を怠らず、自己管理をしっかりしましょう。

評価方法	レポート（60％） 授業態度（40％）	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	
------	------------------------	---	--

【使用教科書・教材・参考書】

体育が出来る服装、館内シューズの用意（Tシャツ、短パン）

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	人間関係論 (Human relations)	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	川出知樹・鈴木和行・阿部信美
学科	理学療法科	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	前期
コース	昼間Ⅰ部			(単位)	(2)	曜日・時限	水曜・2限

【授業の学習内容】

人は一生に多くの人間とめぐり合い、相互に影響を与えながら人間関係を形成し成長する。人間関係はコミュニケーションに影響し、同時にコミュニケーションは人間関係に影響する。つまり、人間関係とコミュニケーションとは相互に密接な関係にある。コミュニケーションのありよう次第で人間関係は建設的にも破壊的にもなる。したがって、対人援助職を目指すものは、円滑な人間関係を築くために必要なコミュニケーションとは何かを知り、他者への働きかけに際しての基礎的なコミュニケーション技術の習得が求められる。本授業では、人間関係とコミュニケーションの基本概念や相互の関連性、人間関係を円滑にしたり阻害したりするコミュニケーションの諸相について基本原則を学ぶ。その上で、カウンセリング面接の立場から他者への適切な働きかけの基本となるコミュニケーション技法を体験・学習し、様々な場面で人と関わるための基礎を実施します。また、コミュニケーションの手法だけでなく職業人として人間関係構築が出来る方法を学ぶ。

【到達目標】

1. コミュニケーションとは何かを体系的に理解し、より質の高いスキルを身につける。
2. 人の心に寄り添うとはどういうことかを理解し、身につける。
3. 社会人・医療人としての資質を身につける。
4. コミュニケーションスキルがチーム医療の実践に必要なことを理解し、身につける。

授業計画・内容

1回目	コミュニケーションについて説明することができる。
2回目	人の話の聴き方・質問力について説明することができる。
3回目	話し方、伝え方／話の構成の仕方について説明することができる。
4回目	グループディスカッションの進め方を知り実施することができる。
5回目	ビジネスマナーの必要性について説明することができる。
6回目	挨拶について説明することができる。
7回目	正しいことば遣いについて説明することができる。
8回目	電話応対の基本について説明することができる。
9回目	訪問・応対マナーについて説明することができる。
10回目	訪問・応対マナーについて説明することができる。
11回目	実習後のお礼状の書き方①を準備することができる。
12回目	実習後のお礼状の書き方②を準備することができる。
13回目	将来を描き、夢を叶える考え方について説明することができる。
14回目	講義で学んだスキルを実施することができる。
15回目	PT/OTにとって必要なヒューマンスキルについて説明することができる。
16回目	試験

準備学習 日頃からの言葉遣いやマナーに活かせるように復習してください。

時間外学習

評価方法	1. 定期試験 (100%) 2. 小テスト (%) 3. レポート (%) 4. 課題成果 (%) 5. 実地試験 (%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	社会人として必要な礼儀やマナーについて学びます。
------	--	---	--------------------------

受講生へのメッセージ	医療分野では、様々な場面でコミュニケーション能力が求められています。医療コミュニケーションとは、医療従事者相互・医療従事者と患者・患者相互における医学・医療分野に関係した情報のやり取りを意味しています。医療の高度化と専門化が進む中、複数の専門職が組織的に取り組む「チーム医療」の重要性が叫ばれリハビリテーション分野においても関連職種による「総合リハビリテーション」の実践が求められています。これらを実践していくには専門職間の情報共有と連携が不可欠であるので、これらに対応できる。基本的な方法論を学びます。
------------	--

【使用教科書・教材・参考書】

コミュニケーションスキルアップ検定

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	解剖生理学 I (Anatomical physiology I)	必修選択	必修	年次	1 年次	担当教員	神山 卓也
学科	理学療法科	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	前期
コース	昼間部 (I 部)			(単位)	(2)	曜日・時限	木曜・1限

【授業の学習内容】

授業内容：教材にある解剖生理学の第1章（解剖生理学のための基礎知識）、第7章（身体の支持と運動）、11章（体表からみた人体の構造）を中心に授業を進めます

- 解剖生理学のための基礎知識(人体の構造のベースになる用語や部位)について習得します。
- 人体の構成、骨の形態、構造、リモデリング、脊柱、胸郭、上肢骨、下肢骨、頭蓋の連結、上下肢の連結、筋組織の種類と特徴について習得する。

実務者経験：1989年理学療法士免許取得し一般病院に勤務。1998年あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師取得。その後、回復期病院等に勤務。2011年より一社ひがし治療院開院。現在は、治療院勤務の他に、整形外科クリニック非常勤、国立病院機構東名古屋病院付属リハビリテーション学院にて非常勤講師として勤務している

【到達目標】

- 人体の骨格の構造と機能を説明できる。
- 骨格筋の構造と機能を理解し、運動のメカニズムを説明できる。
- 解剖学的な用語を適切に使用できる
- 関節や筋肉の役割を実際の生活や病態に関連付けて説明できる

授業計画・内容			
1回目	骨格とはどのようなものか（人体の骨格とその重要性、骨の形態と構造）について説明することができる。		
2回目	骨の組織と組成（骨の組織構造、骨の化学的構成要素）について説明することができる。		
3回目	骨の発生と成長（骨の発生過程、骨の成長と骨折）について説明することができる。		
4回目	骨の生理的な機能（骨の生理的役割、骨粗鬆症と骨軟化症）について説明できる		
5回目	骨の連結（関節の構造、不動性の連結）について説明することができる。		
6回目	関節の運動と障害（関節運動の種類、関節運動障害）について説明することができる。		
7回目	骨格筋の構造（筋肉と腱の構造、骨格筋の基本的な構造）について説明することができる。		
8回目	骨格筋の作用（筋肉の機能と作用、筋肉の収縮と伸張）について説明することができる。		
9回目	骨格筋の神経支配（神経と筋肉の関係、神経支配のメカニズム）について説明することができる。		
10回目	体幹の骨格と筋（脊柱と胸郭、背部と腹部の筋群）について説明することができる。		
11回目	上肢の骨格と筋（上肢帯と自由上肢の骨格、上肢の筋群）について説明することができる。		
12回目	下肢の骨格と筋（下肢帯と骨盤、大腿部と下腿部の筋群）について説明することができる。		
13回目	頭頸部の骨格と筋（神経頭蓋と顔面頭蓋、頭部および頸部の筋群）について説明することができる。		
14回目	筋の収縮（骨格筋の収縮機構、筋の収縮の種類）について説明することができる。		
15回目	運動と代謝（エネルギー代謝と運動、運動時のエネルギー供給）について説明することができる。		
16回目	試験		
準備学習 時間外学習	特別の準備学習資料や事前の課題提示をする場合があります。事前に学習範囲を教科書・教材にて確認してください		
評価方法	定期試験（100％）	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	
受講生への メッセージ	多くの医療用語があります。分からない読みなどそのままにせず、気軽に質問などおこなって、その場で解決して次に進んでください。		
【使用教科書・教材・参考書】			
系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1] 解剖生理学 第11版 標準理学療法学・作業療法学 解剖学第5版 病気がみえる〈vol.11〉運動器・整形外科 MEDIC MEDIA			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名(英)	解剖生理学Ⅱ (Anatomical physiology Ⅱ)	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	斎藤 研
学科	理学療法科	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	前期
コース	昼間部（Ⅰ部）			(単位)	(2)	曜日・時限	月曜 2限
【授業の学習内容】 授業内容：・解剖生理学Ⅱでは栄養の消化と吸収、呼吸と血液の働き、血液の循環とその調整についての構造について習得する。 ・第2章～4章の構造について							
【到達目標】 解剖生理学Ⅱでは人体の構造（消化器・呼吸器・循環）について理解し、説明することができる。							

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション 解剖生理学とは	
2回目	腹部消化器管について説明することができる。	
3回目	腹部消化器管について説明することができる。	
4回目	腹部消化器管について説明することができる。	
5回目	脾臓・肝臓・胆のうの構造について説明することができる。	
6回目	脾臓・肝臓・胆のうの構造について説明することができる。	
7回目	脾臓・肝臓・胆のうの構造について説明することができる。	
8回目	血液の組成について説明することができる。	
9回目	呼吸器の構造について説明することができる。	
10回目	呼吸器の構造について説明することができる。	
11回目	心臓の構造について説明することができる。	
12回目	心臓の構造について説明することができる。	
13回目	末梢循環器系の構造について説明することができる。	
14回目	末梢循環器系の構造について説明することができる。	
15回目	総復習し試験準備をすることができる。	
16回目	試験	
準備学習 時間外学習	講義資料を持ちいて復習してください。多くの医療用語があります。分からない読みなどそのままにせず、解決して次に進んでください。	
評価方法	1. 定期試験（100％） 2. 小テスト（％） 3. レポート（％） 4. 課題成果（％） 5. 実地試験（％）	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格
受講生への メッセージ		
【使用教科書・教材・参考書】 系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1] 解剖生理学 第11版		

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	解剖生理学Ⅲ (Anatomical physiology Ⅲ)	必修選択	必修	年次	1 年次	担当教員	斎藤 研
学科	理学療法科	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	後期
コース	昼間部 (Ⅰ部)			(単位)	(2)	曜日・時限	曜 限
【授業の学習内容】 ・解剖生理学Ⅲでは泌尿器・内臓機能・神経系・身体機能の防御と適応・生殖器の構造について習得する。 ・第5章～10章の構造について (7章を除く) 実務者経験：1984年中学校・高等学校教員免許取得。1995年医師免許取得し内科医として勤務する。							
【到達目標】 解剖生理学Ⅲでは泌尿器・内臓機能・神経系・身体機能の防御と適応・生殖器の構造について理解し、説明することができる。							

授業計画・内容			
1回目	腎臓の構造について説明することができる。		
2回目	排尿路の構造について説明することができる。		
3回目	自律神経の構造について説明することができる。		
4回目	膀胱・副腎・性腺の構造について説明することができる。		
5回目	膀胱・副腎・性腺の構造について説明することができる。		
6回目	脊髄の構造について説明することができる。		
7回目	脊髄の構造について説明することができる。		
8回目	脳の構造について説明することができる。		
9回目	脳の構造について説明することができる。		
10回目	伝導路の構造について説明することができる。		
11回目	伝導路の構造について説明することができる。		
12回目	眼の構造について説明することができる。		
13回目	耳・聴覚・平衡覚・味覚器の構造について説明することができる。		
14回目	味覚器の構造について説明することができる。		
15回目	生殖器の構造について説明することができる。		
16回目	試験		
準備学習 時間外学習	講義資料を持ちいて復習してください。多くの医療用語があります。分からない読みなどそのままにせず、解決して次に進んでください。		
評価方法	1. 定期試験（100％） 2. 小テスト（％） 3. レポート（％） 4. 課題成果（％） 5. 実地試験（％）	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	人体の構造を泌尿器・内臓機能・神経系・身体機能の防御と適応生殖器について学びます。
受講生への メッセージ	正常な人体の成り立ちや、完成された形態や構造を学ぶ解剖学は理学療法士、作業療法士としての臨床の場面で不可欠の知識となるため、十分な理解が望まれる。ともすれば、暗記に偏りがちな分野であるが、着実に学習して欲しい。		
【使用教科書・教材・参考書】 系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1] 解剖生理学 第11版			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名(英)	解剖生理学Ⅳ (Anatomical physiology Ⅳ)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	大川 真清
学科	理学療法科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
コース	昼間Ⅰ部					曜日・時限	月曜・1.4限

【授業の学習内容】

- ① 細胞について習得する。
- ② 消化器系について習得する。
- ③ 呼吸器系について習得する。
- ④ 血液系について習得する。
- ⑤ 循環器系について習得する。
- ⑥ 泌尿器系について習得する。

※実務者経験：2001～2009年 2001年に獣医師の資格を取得。三重県庁、桑名保健所にて衛生検査等に携わる。2009年尾鷲市市議会議員就任。2013年より名古屋医専にて解剖学、生理学、微生物学、生化学、健康科学および病理学を担当。

【到達目標】

・解剖生理学Ⅳは、人体の正常な機能を理解する学問です。解剖生理学Ⅳでは、生理学の基礎である細胞からはじまり、消化器系、呼吸器系、血液系、循環器系、泌尿器系を学び、大まかな機能の説明ができる。

授業計画・内容			
1回目	細胞の機能について説明することができる。		
2回目	ホメオスタシスについて説明することができる。		
3回目	口腔・食道・胃の機能について説明することができる。		
4回目	小腸・大腸の機能について説明することができる。		
5回目	膵臓・肝臓の機能について説明することができる。		
6回目	呼吸器量、ガス交換について説明することができる。		
7回目	呼吸の神経調節、病態生理について説明することができる。		
8回目	血球の種類・機能、貧血について説明することができる。		
9回目	血液凝固、血液型について説明することができる。		
10回目	血液循環、刺激伝導系について説明することができる。		
11回目	心電図、血圧調節について説明することができる。		
12回目	病態生理について説明することができる。		
13回目	腎臓・尿路の機能について説明することができる。		
14回目	体液調節について説明することができる。		
15回目	総復習し試験準備をすることができる。		
16回目	試験		
準備学習 時間外学習	講義資料を持ちいて復習してください。多くの医療用語があります。分からない読みなどそのままにせず、解決して次に進んでください。		
評価方法	1. 定期試験（100％） 2. 小テスト（％） 3. レポート（％） 4. 課題成果（％） 5. 実地試験（％）	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	人体の機能を筋・神経・呼吸器・循環器・消化器などから学びます。
受講生への メッセージ			
【使用教科書・教材・参考書】			
系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1] 解剖生理学 第11版			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名(英)	解剖生理学Ⅴ (Anatomical physiologyⅤ)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	大川 真清
学科	理学療法科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期
コース	昼間1部					曜日・時限	月曜・1.4限
【授業の学習内容】 ①内分泌系について習得する。 ②免疫系について習得する。 ③神経系について習得する。 ④生殖系について習得する。 ※実務者経験：2001～2009年 2001年に獣医師の資格を取得。三重県庁、桑名保健所にて衛生検査等に携わる。2009年尾鷲市市議会議員就任。2013年より名古屋医専にて解剖学、生理学、微生物学、生化学、健康科学および病理学を担当。							
【到達目標】 ・解剖生理学Ⅴは、人体の正常な機能を理解する学問です。解剖生理学Ⅴでは、内分泌系、免疫系、神経系、生殖器系を学び、大まかな機能の説明ができる。							

授業計画・内容			
1回目	自律神経とホルモンについて説明することができる。		
2回目	下垂体・甲状腺のホルモンについて説明することができる。		
3回目	上皮小体・副腎・膵臓のホルモンについて説明することができる。		
4回目	性腺・その他のホルモンについて説明することができる。		
5回目	生体の防御機能について説明することができる。		
6回目	代謝と体温調節について説明することができる。		
7回目	神経の分類、伝導について説明することができる。		
8回目	中枢神経の機能について説明することができる。		
9回目	末梢神経の機能について説明することができる。		
10回目	脳の高次機能について説明することができる。		
11回目	伝導路、神経系の障害について説明することができる。		
12回目	男性生殖器の機能について説明することができる。		
13回目	女性生殖器の機能について説明することができる。		
14回目	受精と胎児、成長と老化について説明することができる。		
15回目	総復習し試験準備をすることができる。		
16回目	試験		
準備学習 時間外学習	講義資料を持ちいて復習してください。多くの医療用語があります。分からない読みなどそのままにせず、解決して次に進んでください。		
評価方法	1. 定期試験（100％） 2. 小テスト（％） 3. レポート（％） 4. 課題成果（％） 5. 実地試験（％）	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	人体の機能を筋・神経・呼吸器・循環器・消化器などから学びます。
受講生への メッセージ			
【使用教科書・教材・参考書】			
系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1] 解剖生理学 第11版			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	解剖生理学Ⅵ (Anatomical physiology Ⅵ)	必修 選択	必修	年次	1 年次	担当教員	斎藤 研
学科	理学療法科	授業 形態	講義	総時間	30	開講区分	後期
コース	昼間部 (Ⅰ部)			(単位)	(2)	曜日・時限	曜 限
【授業の学習内容】 - 細胞を構成する物質のエネルギーの生成・細胞膜・染色体の機能について習得する。 - 骨組織の組成・モデリング・骨格筋収縮のメカニズムについて習得する。 - 解剖生理学で学んだ知識を用い、理学療法士・作業療法士に必要とされるポイントを習得する。							
【到達目標】 解剖生理学Ⅵは、人体の正常な機能を理解する学問です。解剖生理学Ⅵでは、細胞の構成するための機能、骨格筋系のメカニズムを学び、大まかな機能の説明ができる。							

授業計画・内容			
1回目	細胞を構成する物質のエネルギーの生成機能について説明することができる。		
2回目	細胞膜の機能について説明することができる。		
3回目	染色体の機能について説明することができる。		
4回目	骨組織の組成について説明することができる。		
5回目	モデリングについて説明することができる。		
6回目	骨格筋収縮のメカニズムについて説明することができる。		
7回目	骨格筋収縮のメカニズムについて説明することができる。		
8回目	骨格筋収縮のメカニズムについて説明することができる。		
9回目	消化器の機能について説明することができる。		
10回目	呼吸器の機能について説明することができる。		
11回目	循環器の機能について説明することができる。		
12回目	泌尿器の機能について説明することができる。		
13回目	内臓機能について説明することができる。		
14回目	内分泌系の機能について説明することができる。		
15回目	神経系の機能について説明することができる。		
16回目	試験		
準備学習 時間外学習	講義資料を持ちいて復習してください。多くの医療用語があります。分からない読みなどそのままにせず、解決して次に進んでください。		
評価方法	1. 定期試験（100%） 2. 小テスト（％） 3. レポート（％） 4. 課題成果（％） 5. 実地試験（％）	評価方法はG P A制度となります 1 0 0 ～ 9 0 点 S 8 9 ～ 8 0 点 A 7 9 ～ 7 0 点 B 6 9 ～ 6 0 点 C 5 9 点以下 F 不合格	人体の機能を筋・骨格系、内臓系について学びます。
受講生へのメッセージ	正常な人体の成り立ちや、完成された形態や構造を学ぶ解剖学は理学療法士、作業療法士としての臨床の場面で不可欠の知識となるため、十分な理解が望まれる。ともすれば、暗記に偏りがちな分野であるが、着実に学習して行って欲しい。		
【使用教科書・教材・参考書】 系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1] 解剖生理学 第11版			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年 シラバス

科目名 (英)	解剖生理学 実習Ⅰ (Practical Anatomical physiology Ⅰ)	必修	年次	1年	担当教員	安藤 正和
学科	理学療法科	実習	総時間	45	開講区分	後期
コース	昼間Ⅰ部		(単位)	(1)	曜日・時限	水曜・1・2時限
【授業の学習内容】 本講義では、体表面上での筋骨格系の理解を深めることで形態測定やROM計測の精度を高め、評価の精度を向上させることを目的とする。また、筋骨格系の三次元的理解を深める事で動作観察や動作分析の精度の向上を目指す。 【実務経験】平成5年鍼灸あん摩マッサージ指圧師取得、平成8年より安藤治療院開院。平成21年4月より理学療法士として稲熊病院の非常勤勤務、平成23年より伊勢志摩リハビリテーション専門学校非常勤講師、平成25年よりやまだ整形外科・リハビリクリニックリハビリテーション科顧問を兼務しつつ体表解剖学研究会講師としてセミナー活動も参加。現在はしだみ早川整形外科リハビリテーション科の臨床業務に従事。主な対象疾患は、臼蓋形成不全、後側弯変性症、運動器疾患術後、廃用症候群など。						
【到達目標】 体表面上での骨指標を正確に同定し、指標から筋の位置を想定し、実習にて触察により理解を深める。また、筋の硬度や形状を触察によって理解することで、関節トルクに作用するかを評価する事を目標とする。						

授業計画・内容			
1回目	総論 触察の意義 筋骨格系の理解の重要性について	16回目	大殿筋上部 下部
2回目	骨指標 上腕骨 橈骨 尺骨	17回目	中殿筋前部 後部
3回目	前腕屈筋群 (円回内筋・長掌筋・橈側手根屈筋・尺側手根屈筋)	18回目	梨状筋・上双子筋・内閉鎖筋 ・下双子筋・大腿方形筋
4回目	前腕伸筋群 (総指伸筋・小指伸筋・尺側手根伸筋)	19回目	骨指標 棘突起 腸骨稜 上後腸骨棘 転子間稜
5回目	上腕屈筋群 (上腕二頭筋・烏口腕筋・上腕筋)	20回目	脊柱起立筋 (腰部多裂筋 最長筋 腸肋筋)
6回目	上腕三頭筋 (長頭・内側頭・外側頭)	21回目	腹筋群 (腹直筋 外腹斜筋 内腹斜筋 腹横筋)
7回目	骨指標 上前腸骨棘 下前腸骨棘 大腿骨 脛骨 腓骨	22回目	頸部筋 (胸鎖乳突筋・前斜角筋・中斜角筋)
8回目	腸脛靱帯 外側広筋	23回目	試験
9回目	大腿直筋 内側広筋	24回目	
10回目	大腿筋膜張筋・縫工筋・薄筋	25回目	
11回目	骨指標 上後腸骨棘 下後腸骨棘 坐骨結節	26回目	
12回目	大腿二頭筋・半腱様筋・半膜様筋	27回目	
13回目	骨指標 内側から観察した坐骨結節 大腿骨	28回目	
14回目	大内転筋・長内転筋	29回目	
15回目	骨指標 上後腸骨棘 下後腸骨棘 大坐骨孔 坐骨棘 坐骨結節	30回目	
評価方法	筆記 50点 実技 50点 計100点 実技については講義で実習した筋を投影		
受講生へのメッセージ	講義の進行状況によって順番が変わる事があります。臨床での触察能力が、評価において重要な部分であることや、動作分析への応用が可能である点を理解していただけたらと願っています。		
【使用教科書・教材・参考書】	骨格筋の形と触察法 改訂第2版 編集 河上敬介 磯貝香 大峰閣		

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名(英)	解剖生理学 実習Ⅱ (Practical Anatomical physiologyⅡ)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	大川 真清
学科	理学療法科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	45 (1)	開講区分	後期
コース	昼間Ⅰ部					曜日・時限	月曜・1.2限
【授業の学習内容】 ・呼吸数の測定、血糖値の測定、心電図の記録、血圧の測定などの実習を行う。 ※実務者経験：2001～2009年 2001年に獣医師の資格を取得。三重県庁、桑名保健所にて衛生検査等に携わる。2009年尾鷲市市議員就任。2013年より名古屋医専にて解剖学、生理学、微生物学、生化学、健康科学および病理学を担当。							
【到達目標】 ・一人ひとりが測定機器の操作や実技を行うことで、生理機能の能力を測定する習得を行う。さらにデータの分析や実習後のレポート作成を通して、生理学の講義で学んだ知識をより深く理解することができるように実施することができる。							

授業計画・内容			
1回目	実習ガイダンスの準備をすることができる。		
2回目	呼吸数の測定の準備をすることができる。		
3回目	呼吸数の測定を実施することができる。		
4回目	呼吸数の測定を実施することができる。		
5回目	呼吸数の測定を推論することができる。		
6回目	血圧・心拍数の測定の準備をすることができる。		
7回目	血圧・心拍数の測定を実施することができる。		
8回目	血圧・心拍数の測定を実施することができる。		
9回目	血圧・心拍数の測定を実施することができる。		
10回目	血圧・心拍数の測定を実施することができる。		
11回目	血圧・心拍数の測定を推論することができる。		
12回目	血糖値の測定の準備をすることができる。		
13回目	血糖値の測定を実施することができる。		
14回目	血糖値の測定を実施することができる。		
15回目	血糖値の測定を推論することができる。		
16回目	生理機能の測定の準備をすることができる。		
17回目	生理機能の測定を実施することができる。		
18回目	生理機能の測定を実施することができる。		
19回目	生理機能の測定を推論することができる。		
20回目	生理機能の測定を推論することができる。		
21回目	発表の準備をすることができる。		
22回目	発表の準備をすることができる。		
23回目	発表を実施することができる。		
準備学習 時間外学習	講義資料を持ちいて復習してください。多くの医療用語があります。分からない読みなどそのままにせず、解決して次に進んでください。PPの作成などは学校PCなどにて作成し発表できるようにしましょう。		
評価方法	1. 定期試験 (%) 2. 小テスト (%) 3. レポート (%) 4. 課題成果 (100%) 5. 実地試験 (%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	生理学で学んだ人の機能の知識をもとに、その実際を実習で学びます。
受講生への メッセージ			
【使用教科書・教材・参考書】			
系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1] 解剖生理学 第11版			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名(英)	基礎運動学 (Basic Kinesiology)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	濱谷 光陽
学科	理学療法科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30時間 (2単位)	開講区分	前期・後期
コース	昼間部 (Ⅰ部)					曜日・時限	水曜日・2限

【授業の学習内容】
理学療法の基本となる基礎運動学を理解する為に必要な運動の原則、てこ、関節の形状、筋の構造、運動のしくみ、反射について説明できる。また、呼吸器系、循環器系の構造機能を理解し、運動強度を設定できる。
中枢神経系疾患である脳卒中・パーキンソン病・運動失調症を中心に障害像を理解するためには脳の機能解剖を理解することは必須である。(知覚・感覚、意識障害、高次脳機能、姿勢制御などの背景・メカニズムを学習する)
実務経験：昭和62年に免許を取得し、実務者経験は15年で、総合病院（急性期～回復期）に所属する。主業務は、脳血管障害や整形疾患の術後リハビリテーションを行っていた。
また、老人保健施設など福祉系施設にも所属し、高齢者を取り囲む障害・環境を考慮し、在宅復帰に向けたリハビリテーションを行っていた。教育経験は17年であり、「生体の構造と機能」「障害学」などの基礎系科目を担当していた。
【到達目標】
解剖学生理学と合わせて、骨格、筋、末梢神経などの身体構造および機能を理解し、説明できる。また、腱反射など運動の基礎である原始的運動を理解し、説明できる。このことにより、1年後期から始まる専門基礎分野（臨床医学系）の異常、専門分野（評価学、関節運動など）の理解がスムーズにいくことができる

授業計画・内容			
1回目	運動学分類、運動原則、てこについて説明できる。		
2回目	滑膜関節の構造機能を説明できる。関節の運動方向について説明できる。		
3回目	骨格筋の形状、構造、収縮メカニズムについて説明できる。		
4回目	筋線維のタイプ分類を説明できる。		
5回目	腱反射、Ⅰa抑制、Ⅰb抑制について説明できる。		
6回目	運動単位、サイズの原理について説明できる。		
7回目	運動のリクルートメント、神経支配比について説明できる。		
8回目	運動強度を設定できる。		
9回目	脊髄の解剖学生理学について説明できる。		
10回目	延髄の解剖学生理学について説明できる。		
11回目	橋の解剖学生理学について説明できる。		
12回目	中脳の解剖学生理学について説明できる。		
13回目	小脳の解剖学生理学について説明できる。		
14回目	視床・大脳基底核の解剖学生理学について説明できる。		
15回目	大脳・大脳辺縁系の解剖学生理学について説明できる。		
16回目	試験		
準備学習 時間外学習	人体の構造機能から、「腱反射」のメカニズムなどを学習するので、解剖学・生理学の神経・筋について復習してください。		
評価方法	1. 定期試験（100％） 2. 小テスト（％） 3. レポート（％） 4. 課題成果（％） 5. 実地試験（％）	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	
受講生への メッセージ	腱反射やⅠa抑制は臨床でも使用し、国家試験でも出題されるので、難しいですが、しっかり理解してください。		
【使用教科書・教材・参考書】 医歯薬出版 基礎運動学第6版			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名(英)	運動学Ⅰ (KinematicsⅠ)	必修選択	必修	年次	1	担当教員	矢澤 浩成
学科	理学療法科	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	前期
コース	昼間部(Ⅰ部)			(単位)	(2)	曜日・時限	金曜・1・2時限
【授業の学習内容】 運動学とは、ヒトの身体運動の仕組みに関わる学問です。筋骨格系の構造・機能との関係、身体に加わる力との関わり、身体運動の発現とその盛衰機序、運動技能の獲得過程など、身体運動に関する諸問題について、解剖学、生理学、力学、心理学的観点から究明していきます。本講義では基礎運動学を踏まえ、上肢における各関節の運動を理解し、評価・治療に結びつけることができるよう学習します。 実務経験：1998年より理学療法士として大学病院にて整形疾患、中枢疾患のを中心とした理学療法を行ってきた。また2007年より理学療法士養成施設にて運動学の講義および実習を担当している。							
【到達目標】 1. 上肢の各関節の構造を理解し説明することができる 2. 上肢の各関節運動および関節運動に作用する筋の働きについて理解し説明することができる 3. 上肢の各関節における制限因子について理解し説明することができる							

授業計画・内容			
1回目	オリエンテーション、身体運動学		
2回目	運動力学と運動学の違いについて		
3回目	関節の構造と種類について		
4回目	肩甲帯の構造について		
5回目	肩甲帯の運動について		
6回目	肩甲上腕関節の構造について		
7回目	肩甲上腕関節の運動について		
8回目	肩甲帯・肩甲上腕関節の複合運動について		
9回目	肘関節・前腕の構造について		
10回目	肘関節・前腕の運動について		
11回目	手関節の構造について説明できる		
12回目	手関節の運動について説明できる		
13回目	手指の構造について		
14回目	手指の運動について		
15回目	まとめ		
16回目	試験		
準備学習 時間外学習	授業内容を復習し、分からない点は質問しましょう。		
評価方法	1. 定期試験（70％） 2. 小テスト（15％） 3. 出席（15％）	評価方法はG P A制度となります す 1 0 0 ～ 9 0 点 S 8 9 ～ 8 0 点 A 7 9 ～ 7 0 点 B 6 9 ～ 6 0 点 C 5 9 点以下 F 不合格	
受講生へのメッ セージ	運動学は理学療法の治療技術である運動療法を行うための重要な科目です。 知識を身につけるために予習復習をしっかりと行ってください。		
【使用教科書・教材・参考書】 基礎運動学（医歯薬出版）			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	運動学 II (Kinematics II)	必修選択	必修	年次	1	担当教員	柴本圭悟
学科	理学療法科	授業形態	演習	総時間	30	開講区分	後期
コース	昼間部 (I 部)			(単位)	(2)	曜日・時限	水曜日・4限

【授業の学習内容】

授業内容：運動学はヒトがどのように活動しているのか、その具体的仕組みを知る学問です。この講義では下肢の筋骨格系の構造・機能との関係性などを、解剖学や生理学などの知識に基づき理解し、理学療法評価からアプローチに結びつけることができるよう学習していきます。

実務者経験：2003年から2010年3月まで主に回復期病院での理学療法を経験、2010年4月から総合病院での勤務となり主に整形外科での病棟での担当として筋骨格系障害の理学療法を中心に従事。現在は、回復期病棟と外来リハビリの担当として理学療法に従事。

【到達目標】

下肢における関節運動学の理解

(目標①) 下肢の各関節の構造を述べることができる

(目標②) 下肢の各関節の運動機能について述べることができる

(目標③) 下肢の各関節の相互的な関係性について述べることができる

授業計画・内容

1回目	下肢帯と下肢の構造について説明ができる
2回目	骨盤帯の構造と運動について説明できる
3回目	股関節の構造について説明できる
4回目	股関節の運動について説明できる①
5回目	股関節の運動について説明できる②
6回目	膝関節の構造について説明できる
7回目	膝関節の運動について説明できる①
8回目	膝関節の運動について説明できる②
9回目	足関節の構造について説明できる
10回目	足関節の運動について説明できる①
11回目	足関節の運動について説明できる②
12回目	足部・足趾の構造について説明できる
13回目	足部・足趾の運動について説明できる①
14回目	足部・足趾の運動について説明できる②
15回目	まとめ
16回目	試験

準備学習
時間外学習

解剖学的知識を中心に講義を進めていくので、事前に当該部位の骨学・筋学を復習しておくようにして下さい。また、小テストを定期的の実施しますので、授業の復習を行なってください。

評価方法	1. 定期試験 (80%) 2. 小テスト (20%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	
------	--------------------------------	---	--

受講生への
メッセージ

運動学は理学療法の中でも最も重要な科目の一つです。解剖学・生理学とともにしっかりと知識に落とし込み、それを理学療法評価や治療学に結び付けられるように予習・復習していきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

基礎運動学 医歯薬出版

プロメテウス解剖学アトラス 医学書院 骨格筋の形と触察法

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	人間発達学 (Human Development)	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	川口大輔
学科	理学療法科	授業形態	講義	総時間	15	開講区分	後期
コース	昼間Ⅰ部			(単位)	(1)	曜日・時限	土曜・1・2時限

【授業の学習内容】

- ・各発達段階ごとに、身体・運動・認知の特徴を学び、標準的な発達過程を習得する。
- ・発達の評価に用いられる代表的な検査と結果の見かたを習得する。
- ・各発達段階にみられる疾病・障害を習得する。

※実務者経験：2012年理学療法士免許取得。整形外科クリニックにて整形外科疾患の理学療法に携わった後に、療育センターにて乳児期以降の小児理学療法に従事する。

【到達目標】

- ・人間発達学では、生命の発生から死に至るまで、生涯にわたる人間の変化を発達プロセスとして捉える。授業で学んでいくのは、身体諸器官の形態と機能の変化と、認知神経学的変化、社会的存在の側面等である。授業の学習内容を習得することで、人間は生涯発達してゆく存在であるという視点と、個々人の発達過程はそれぞれ個性的であるという視点を、リハビリテーション実践の基盤として持つことができる。

授業計画・内容

1回目	人間発達学の概論、胎生期の発達について説明することができる。		
2回目	新生児期の発達について説明することができる。		
3回目	乳児期の発達について説明することができる。		
4回目	幼児期の発達について説明することができる。		
5回目	学童期の発達について説明することができる。		
6回目	青年期の発達について説明することができる。		
7回目	成人期と壮年期の発達について説明することができる。		
8回目	老年期の発達について説明することができる。		
9回目	試験		
準備学習時間 外学習	毎回の講義資料を見直して必ず復習してください。多くの医療用語があります。分からない読みなどそのままにせず、解決して次に進んでください。		
評価方法	1. 定期試験 (100%) 2. 小テスト (%) 3. レポート (%) 4. 課題成果 (%) 5. 実地試験 (%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	ヒトの心身のはたらきを、成長過程の特徴に注目して学びます。
受講生への メッセージ	人間発達学では、生命の発生から死に至るまで、生涯にわたる人間の変化を発達プロセスとして捉えることで、リハビリテーション実践の基盤となる視点を持つことができます。理学療法士としての土台となる知識を習得し、将来の治療場面に生かしてください。		
【使用教科書・教材・参考書】			
Crosslink basic リハビリテーションテキスト 人間発達学 編集：浅野大喜 MEDICAL VIEW			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	老年学 (Gerontology)	必修選択	必修	年次	1	担当教員	阿部 信美
学科	理学療法科	授業形態	講義	総時間	15	開講区分	後期
コース	昼間部 (Ⅰ部)			(単位)	1	曜日・時限	金曜日・2限

【授業の学習内容】

年齢を重ねる中で身体機能面ばかりでなく、精神面も環境の変化の中で変化していくことを学ぶ。解剖学的な解釈も踏まえ、その上でどうPTとして関わっていけるのかを考える。また最近、社会問題として高齢者の交通事故や逆に高齢者の生きがいなど考える。さらに予防的な視点で医療者として、リハビリテーションの中でどのように理学療法士の知識と専門性を発揮するのかを説明できるようにする。

【業績】1990年4月総合病院勤務後、在宅医療までの理学療法に携わることで急性期から維持期生活期までPTとして経験する。

【到達目標】

高齢者の特性や疾患から身体機能面、精神機能的変化を解剖学、生理学的に説明できる。予防の視点でも近年包括ケアシステムの中でどうかかわっていくかを学ぶ。また医療人として退行していく年代にどう向き合えばよいのかを学ぶ。

授業計画・内容

1回目	理学療法と老年学の関わり。老化・高齢者の定義と人口動態について理解できる
2回目	加齢に伴う変化（生理機能面）を理解できる
3回目	加齢に伴う変化（身体・精神機能面）を理解できる
4回目	老年症候群について理解できる
5回目	フレイル サルコペニアについて理解できる
6回目	転倒・歩行 と サルコペニアの関係について理解できる
7回目	高齢者の機能評価（身体・精神心理・社会的状況・CGA）について理解できる
8回目	老化による高齢者の精神疾患の特徴（認知症・うつ）嚥下障害などについて理解できる
9回目	テスト 解説
10回目	
11回目	
12回目	
13回目	
14回目	
15回目	

準備学習
時間外学習

身体機能の変化においては解剖学的知識が必要です。特に疾患や病態変化など学ぶ上では解剖生理学のテキストで復習をしましょう。

評価方法	1. 定期試験80 (%) 2. 小テスト20 (%) 3. レポート提出 (%) 4. 課題成果 (%) 5. 実地試験 (%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	
------	---	---	--

受講生への
メッセージ

退行していく高齢者の気持ちに寄り添えることから始まる科目でもあります。自分の周囲にいるお年寄りを思いながら授業に参加してもらえると良いでしょう。

【使用教科書・教材・参考書】 配布資料

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名(英)	病理学 (Pathology)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	大川 真清
学科	理学療法科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	後期
コース	昼間Ⅰ部					曜日・時限	月曜・5限

【授業の学習内容】

・疾患の概念の変遷と病理学について、細胞の微細構造と機能について、循環障害について、炎症について、感染症について免疫機構異常について、遺伝と先天異常についてを習得する。

※実務者経験：2001～2009年 2001年に獣医師の資格を取得。三重県庁、桑名保健所にて衛生検査等に携わる。2009年尾鷲市市議会議員就任。2013年より名古屋医専にて解剖学、生理学、微生物学、生化学、健康科学および病理学を担当。

【到達目標】

・ヒトの疾患を学ぶに際しては、どのようにしてその疾患が生じ、さらになぜ個体に種々の悪い影響を与えているのかという観点からの知識がなければ、疾患の本質的な理解は不可能である。このため、疾患の本質を学ぶ上で、病理学の知識が欠かせないことは言うまでもない。また、最近、出題が増加している状況設定問題に対する基本的知識をも習得する。

授業計画・内容

1回目	病理学とは何か、細胞傷害について、説明することができる。
2回目	細胞・組織の修復・再生について、説明することができる。
3回目	循環障害について、説明することができる。
4回目	炎症について、説明することができる。
5回目	感染症について、説明することができる。
6回目	免疫の異常について、説明することができる。
7回目	遺伝と先天異常、腫瘍について、説明することができる。
8回目	代謝異常について、説明することができる。
9回目	試験

準備学習 時間外学習	講義資料を持ちいて復習してください。多くの医療用語があります。分からない読みなどそのままにせず、解決して次に進んでください。
---------------	--

評価方法	1. 定期試験 (100%) 2. 小テスト (%) 3. レポート (%) 4. 課題成果 (%) 5. 実地試験 (%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	疾病を細胞・組織の形態的な病変レベルで学びます。
------	--	---	--------------------------

受講生への メッセージ	最近出題が増加している状況です。設定問題に対する基本的知識をも習得してください。
----------------	--

【使用教科書・教材・参考書】

「シンプル病理学」 第7版 : 笹野公伸/岡田保典/安井弥 南江堂 2015

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	外科学 (Surgery)	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	渡 賢治
学科	理学療法科	授業形態	講義	総時間	15	開講区分	後期
コース	昼間Ⅰ部			(単位)	(1)	曜日・時限	木曜日・5時限

【授業の学習内容】

- ・機械的,非機械的損傷について、感染性疾患について、腫瘍について、臓器移植について習得する。
- ・心肺蘇生法とAED（自動体外式除細動器）について知識と技術を習得する。
- ・トリアージについての知識と技術を習得する。

※実務者経験：日本整形外科学会専門医。日本整形外科学会リウマチ認定医。日本整形外科学会運動器リハビリテーション認定医

【到達目標】

- ・医学一般に関する知識の中から、特に外科学における基本的知識および国家試験において繰り返し問われる出題項目について講義を行うことにより、知識を深めることを主眼とする。 また、最近、出題が増加している画像診断に関する基本的知識を説明することができる。

授業計画・内容

1回目	機械的損傷について説明することができる。		
2回目	非機械的損傷について説明することができる。		
3回目	感染性疾患、腫瘍について説明することができる。		
4回目	臓器移植について説明することができる。		
5回目	トリアージについて説明することができる。		
6回目	心肺蘇生法とAED（自動体外式除細動器）について説明することができる。		
7回目	トリアージ、心肺蘇生法、ED（自動体外式除細動器）を模倣することができる。		
8回目	トリアージ、心肺蘇生法、ED（自動体外式除細動器）を模倣することができる。		
9回目	試験		
準備学習 時間外学習	講義資料を持ちいて復習してください。多くの医療用語があります。分からない読みなどそのままにせず、解決して次に進んでください。		
評価方法	1. 定期試験（％） 2. 小テスト（％） 3. レポート（％） 4. 課題成果（％） 5. 実地試験（％）	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	外科学および救急法について学びます。
受講生への メッセージ	国家試験問題としては出題が少ない分野ではあるが、PT・OTとして、臨床の場面で不可欠の知識となるため、十分な理解が望まれる。ともすれば、暗記に偏りがちな分野であるが、着実に学習して行って欲しい。		
【使用教科書・教材・参考書】			
なし			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	一般臨床医学 (Medical Science Lecutures)	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	武田 康代・大川真清
学科	理学療法科	授業形態	講義	総時間	15	開講区分	後期
コース	昼間Ⅰ部			(単位)	(1)	曜日・時限	火曜・3限 金曜・1限
【授業の学習内容】 【 栄養学 】 ・なぜリハビリテーションに栄養が必要かを理解する。そのために必要な栄養・栄養素に関する知識を習得する。 ・リハビリテーション栄養ケアプロセスに関する基礎的な知識を習得する。 *実務者経験：1985年4月～1989年3月まで知的障害者更生施設 管理栄養士。2012年～高齢者ディサービス・多機能型事業所（生活介護）チーフマネージャー。知的障がい児・者の食生活と運動習慣についてフィールド調査中。 【 公衆衛生学 】 我が国における保健、福祉、医療の現状と問題点を認識するとともに、保健予防に関する基礎的な知識を習得する。 ※実務者経験：2001～2009年 2001年に獣医師の資格を取得。三重県庁、桑名保健所に衛生検査等に携わる。2009年尾鷲市市議会議員就任。2013年より名古屋医専にて解剖学、生理学、微生物学、生化学、健康科学および病理学を担当。							
【到達目標】 【 栄養学 】 1. リハビリテーション栄養とは何かを説明することができる。 2. リハビリテーション栄養ケアプロセスについて説明することができる。 【 公衆衛生学 】 1. 医療従事者として必要な予防医学、健康科学、環境問題の概念を説明できる。 2.疫学について説明できる。							

授業計画・内容			
1回目	リハビリテーションを行っている患者の多くが低栄養状態であることを説明することができる。		
2回目	栄養障害の患者に基本的な栄養、リハ栄養の必要性を説明することができる。		
3回目	サルコペニアの原因に合わせたリハと栄養管理について説明することができる。		
4回目	リハビリテーション栄養ケアプロセスの一連の流れについて説明することができる。		
5回目	我が国における保健と福祉について説明することができる。		
6回目	医療の現状と問題点について説明することができる。		
7回目	保健予防にすることができる基礎的な知識について説明することができる。		
8回目	疫学について説明することができる。		
9回目	試験		
準備学習 時間外学習	短時間で情報量が多い授業のため、予習復習をお願い致します。 授業中、聞きなれない言葉や考え方が沢山でてきます。1回毎に理解を深める努力をしてください。		
評価方法	1. 定期試験（50％） 2. 小テスト（％） 3. レポート（50％） 4. 課題成果（％） 5. 実地試験（％）	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	栄養学・公衆衛生学などについて学びます。
受講生への メッセージ	自分自身の食生活に関心を持ち、栄養評価できるように積極的に取り組んでください。		
【使用教科書・教材・参考書】 PT・OT・STのための リハビリテーション栄養 第3版 基礎からリハ栄養ケアプロセスまで 医歯薬出版株式会社			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名(英)	薬理学 (Pharmacology)	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	河村 達生
学科	理学療法科	授業形態	講義	総時間	15	開講区分	後期
コース	昼間Ⅰ部			(単位)	(1)	曜日・時限	木曜・4限

【授業の学習内容】

リハビリを受けている患者様は、同時に薬物療法を受けている場合が非常に多く、患者様の全身状態を知ることは重要なことです。本授業では医療現場で実際に広く使われている「くすり」の効果やその働きについて、わかりやすく解説し、その病態と関連つけながら「くすり」の基礎的な知識を習得する。

※実務者経験：1996年に薬学部を卒業し薬剤師免許を取得。製薬会社や調剤薬局等にて勤務したのち会社を設立し薬剤師業務や薬局の経営を行う。また、看護学校にて「薬理学」の講師を行う。

【到達目標】

【薬理学】

1. 用量と薬理作用の関係を説明できる。
2. 薬物の作用機序を説明できる。
3. 各ライフステージにおける薬物動態を説明できる。
4. 薬物の副作用・有害作用を説明できる。
5. 各疾患の薬物療法で使用される薬物の種類作用機序・副作用を説明できる。

授業計画・内容

1回目	薬理学の基礎知識について説明することができる。		
2回目	薬が作用するしくみについて説明することができる。		
3回目	自律神経・アレルギー系作用薬について説明することができる。		
4回目	循環器に作用する薬について説明することができる。		
5回目	呼吸器に作用する薬について説明することができる。		
6回目	消化器に作用する薬について説明することができる。		
7回目	中枢神経系に作用する薬について説明することができる。		
8回目	薬の処方と管理について説明することができる。		
9回目	試験		
準備学習時間外学習	短時間で情報量が多い授業のため、予習復習をお願い致します。 授業中、聞きなれない言葉や考え方が沢山でてきます。1回毎に理解を深める努力をしてください。		
評価方法	1. 定期試験 (50%) 2. 小テスト (%) 3. レポート (50%) 4. 課題成果 (%) 5. 実地試験 (%)	評価方法はG P A 制度となります 1 0 0 ～ 9 0 点 S 8 9 ～ 8 0 点 A 7 9 ～ 7 0 点 B 6 9 ～ 6 0 点 C 5 9 点以下 F 不合格	薬理学について学びます。
受講生へのメッセージ	医療現場で実際に広く使われている「くすり」の効果やその働きについて、わかりやすく解説しの病態と関連つけなが「くすり」の基礎的な知識を習得しましょう。		
【使用教科書・教材・参考書】 イラストでまなぶ薬理学 第3版 医学書院			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	整形外科Ⅰ (Orthopedics SurgeryⅠ)	必修選択	必修	年次	1 年次	担当教員	神山 卓也
学科	理学療法科	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	後期
コース	昼間部 (Ⅰ部)			(単位)	(2)	曜日・時限	木曜・1限
【授業の学習内容】 授業内容：整形外科Ⅰでは、整形外科疾患の総論と 整形外科外傷学 スポーツと整形外科について 病態、症状、診断、治療、予後の概要をリハビリテーションを含め習得していく。 病気がみえる〈vol.1 1〉運動器・整形外科 MEDIC MEDIA：目次P2～95、P96～109、P.144～159、P.206～239、P.300～465 実務者経験：1989年理学療法士免許取得し一般病院に勤務。1998年あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師取得。その後、回復期病院等に勤務。2011年より一社ひがし治療院開院。現在は、治療院勤務の他に、整形外科クリニック非常勤、国立病院機構東名古屋病院付属リハビリテーション学院にて非常勤講師として勤務							
【到達目標】 ・ 整形外科的疾患について説明することができる。 ・ 該当分野の国家試験問題についても頻出事項を確認し、正答を導き出すことができる。							

授業計画・内容			
1回目	整形外科総論・運動器の外観・運動器の整理①（骨・関節）について説明することができる。		
2回目	運動器の生理②（筋・神経）・診察について説明することができる。		
3回目	症候・検査について説明することができる。		
4回目	保存療法・手術療法について説明することができる。		
5回目	上肢外観・下肢概観について説明することができる。		
6回目	体幹の外観について説明することができる。		
7回目	外傷総論・上肢骨折について説明することができる。		
8回目	下肢骨折・脱臼・スポーツ外傷・スポーツ障害について説明することができる。		
9回目	骨・軟部腫瘍／脊髄骨腫瘍について説明することができる。		
10回目	リウマチ性疾患／慢性関節疾患疾患①（RA）について説明することができる。		
11回目	リウマチ性疾患／慢性関節疾患②（変形性関節症）について説明することができる。		
12回目	骨系統疾患について説明することができる。		
13回目	代謝性骨疾患について説明することができる。		
14回目	軟部組織・骨・関節感染性疾患について説明することができる。		
15回目	総復習し試験準備をすることができる。		
16回目	試験		
準備学習 時間外学習	特別の準備学習資料や事前の課題提示はありません。事前に学習範囲を教科書・教材にて確認してください		
評価方法	定期試験（100％）	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	
受講生への メッセージ	整形外科的疾患の病態・診断・治療について学びます。		
【使用教科書・教材・参考書】 病気がみえる〈vol.1 1〉運動器・整形外科 系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1] 解剖生理学 第11版 標準理学療法学・作業療法学 解剖学第5版			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名(英)	脳神経内科学Ⅰ (NeurologyⅠ)	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	後藤 桂
学科	理学療法科	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	後期
コース	昼間Ⅰ部			(単位)	(2)	曜日・時限	水曜・2・3時限

【授業の学習内容】

授業内容：脳神経外科領域、神経内科領域の疾患を理解し臨床推論に活用していくため、この講義ではまず神経系の基本構造を学ぶ。さらには、その知識を応用した症候学の理解へと展開する。

実務者経験：箕面市立病院、白鵬女子短期大学講師を経て、星田南病院に勤務。

【到達目標】

- ・神経の基本構造が理解できる。
- ・脳周囲の脈管学が理解できる。
- ・運動・感覚・自律神経の伝導路が理解できる。
- ・運動・感覚・自律神経の異常によって生じる症候が理解できる。
- ・上記に関わる国家試験問題を解くことができる。

授業計画・内容		
1回目	脳・神経の基本構造(1)	
2回目	脳・神経の基本構造(2)	
3回目	脳・神経の機能(1)	
4回目	脳・神経の機能(2)	
5回目	脳血管	
6回目	運動の伝導路	
7回目	感覚の伝導路	
8回目	自律神経の構造と働き	
9回目	運動の異常とその症候(1)	
10回目	運動の異常とその症候(2)	
11回目	運動の異常とその症候(3)	
12回目	脳神経(1)	
13回目	脳神経(2)	
14回目	脊髄・脊髄神経と反射	
15回目	総復習&試験対策講座	
16回目	試験	
準備学習	既に履修した科目の復習をした上で受講すること。	
時間外学習	既に履修した科目或いは履修中の科目との「科目間連携」を意識すること。	
評価方法	1. 定期試験 (80%) 2. 小テスト (20%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格
受講生へのメッセージ	日々の復習なしでは履修は困難な科目です。	
【使用教科書・教材・参考書】 病気がみえる 〈vol.7〉 脳・神経 MEDIC MEDIA		

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名(英)	精神医学 (Psychiatry)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	横山 剛
学科	理学療法科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	後期
コース	昼間Ⅰ部					曜日・時限	水曜・1限

【授業の学習内容】

・総論では精神症候学について講義し、知覚、思考、感情の障害といった用語の定義を理解する事や精神科領域における評価や治療の理解を目的とする。各論では統合失調症、気分障害、認知症、神経症性障害・不安障害、器質・症状精神病、各種依存症、摂食障害、老年期の精神障害等について、それぞれ疾患の定義、診断基準、症状と経過について解説し、治療法までを習得する。

・児童・青年期分野に関しては各ライフステージにおける精神的発達の特徴を解説し、発達障害を中心に解説を行う。内容は理学療法、作業療法士国家試験レベル程度に加え、卒業後の臨床場面で役立つ知識を習得する。

【到達目標】

・精神医学の基本症状、精神疾患の分類と各疾患の概要を理解できる。

授業計画・内容			
1回目	オリエンテーションを実施する。		
2回目	器質性精神障害について理解し説明することができる。		
3回目	精神作用物質について理解し説明することができる。		
4回目	統合失調症について理解し説明することができる。		
5回目	統合失調症について理解し説明することができる。		
6回目	統合失調症について理解し説明することができる。		
7回目	気分障害について理解し説明することができる。		
8回目	気分障害について理解し説明することができる。		
9回目	気分障害について理解し説明することができる。		
10回目	気分障害について理解し説明することができる。		
11回目	神経症性障害について理解し説明することができる。		
12回目	パーソナリティ障害について理解し説明することができる。		
13回目	児童・青年期の精神障害について理解し説明することができる。		
14回目	高齢者と精神医学について理解し説明することができる。		
15回目	1～14を総復習し試験準備をすることができる。		
16回目	試験		
準備学習 時間外学習	新しい言葉が出てきます。1つ1つその日のうちに復習し、次回受講してください。特に作業療法科は専門科目に直結する内容です。予習をして取り組んでください		
評価方法	1. 定期試験（100％） 2. 小テスト（％） 3. レポート（％） 4. 課題成果（％） 5. 実地試験（％）	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	精神疾患の病態・診断・治療について学びます。
受講生への メッセージ	分からないことがあってもめげずに学習していきましょう。		
【使用教科書・教材・参考書】 精神神経疾患ビジュアルブック 学研			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名(英)	臨床心理学 (Clinical Psychology)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	磯貝 理栄
学科	理学療法科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15 (1)	開講区分	後期
コース	昼間Ⅰ部					曜日・時限	水曜・4限

【授業の学習内容】

臨床心理学は心理的問題を抱える人を援助をするための知識と実践を体系化した学問である。本講義では、各精神障害と心理療法、PTOTとのかかわりについて学ぶ。

※実務者経験：1993年に作業療法士免許を取得し、総合病院にて急性期・回復期、通所施設や訪問看護ステーションにて維持期の作業療法に携わってきた。維持期では、心理的援助を必要とする方に多く関わってきた。

【到達目標】

- ・精神障害を引き起こす主な疾患の症候について説明できる
- ・精神障害と心理療法、PTOTとのかかわりについて説明できる

授業計画・内容			
1回目	オリエンテーション、臨床心理学概論		
2回目	神経症、不安障害の症候、心理療法、PTOTとのかかわりについて説明できる		
3回目	身体表現性障害、解離性障害の症候、心理療法、PTOTとのかかわりについて説明できる		
4回目	適応障害、パーソナリティ障害の症候、心理療法、PTOTとのかかわりについて説明できる		
5回目	摂食障害、依存症の症候、心理療法、PTOTとのかかわりについて説明できる		
6回目	統合失調症、気分障害の症候、心理療法、PTOTとのかかわりについて説明できる		
7回目	てんかん、睡眠障害、その他障害の症候、心理療法、PTOTとのかかわりについて説明できる		
8回目	子どもの精神障害の症候、心理療法、PTOTとのかかわりについて説明できる		
9回目	試験		
準備学習 時間外学習	精神医学の復習も含めて、見直しをしてください。		
評価方法	1. 定期試験（100％） 2. 小テスト（％） 3. レポート（％） 4. 課題成果（％） 5. 実地試験（％）	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	
受講生への メッセージ	イメージしにくい部分もあるかもしれませんが、対象者への対応に役立つ内容です。		
【使用教科書・教材・参考書】			
標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 臨床心理学 医学書院			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名(英)	画像診断学 (Clinical Imaging Diagnosis)	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	渡 賢治・本村 清二
学科	理学療法科	授業形態	講義	総時間	15	開講区分	後期
コース	昼間Ⅰ部			(単位)	(1)	曜日・時限	水・木曜日・4・5時限

【授業の学習内容】

・画像診断について習得する。

・X線、CT、MRIの仕組みと、画像の読影を学び、診断や評価の一助にする知識を習得する。

※実務者経験：日本整形外科学会専門医。日本整形外科学会リウマチ認定医。日本整形外科学会運動器リハビリテーション認定医。

※実務者経験：急性期、回復期、維持期の各病院および老健施設、特養施設、デイケア、訪問リハビリテーションなどにて脳卒中患者等の訓練・指導に従事する。また奈良県社協主催の介護職等への脳卒中研修講師も継続して行っている。

【到達目標】

・最近、出題が増加している画像診断に関する基本的知識を説明することができる。

授業計画・内容

1回目	画像読影に必要な基本的知識について説明することができる。		
2回目	頭部の画像診断について説明することができる。		
3回目	頭部の画像診断について説明することができる。		
4回目	胸部、内臓などの画像診断について説明することができる。		
5回目	胸部、内臓などの画像診断について説明することができる。		
6回目	運動器（骨、関節）などの画像診断について説明することができる。		
7回目	運動器（骨、関節）などの画像診断について説明することができる。		
8回目	画像診断に関することができる国家試験問題の考察について説明することができる。		
9回目	試験		
準備学習 時間外学習			
評価方法	1. 定期試験（％） 2. 小テスト（％） 3. レポート（％） 4. 課題成果（％） 5. 実地試験（％）	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	画像診断学について学びます。
受講生への メッセージ	画像を正確に読むことは、患者の状態を知るために欠くことのできない知識であり技術です。各種画像を読むことの基本を習得して、問題点が説明できるようにしましょう。		
【使用教科書・教材・参考書】 PT・OT基礎から学ぶ 画像の読み方 第3版 医歯薬出版株式会社 ケアに使える画像の見かた 照林社			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	医学概論 (Introduction to Medical Science)	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	大川 真清
学科	理学療法科	授業形態	講義	総時間	15	開講区分	前期
コース	昼間Ⅰ部			(単位)	(1)	曜日・時限	月曜 5限

【授業の学習内容】

・リハビリテーション分野だけでなく、医学および医療に携わる専門職として、医の本質や医の倫理について理解を深め、幅広い視野をもった医療従事者としての基礎知識や倫理観を身につける。

※実務者経験：2001～2009年 2001年に獣医師の資格を取得。三重県庁、桑名保健所にて衛生検査等に携わる。2009年尾鷲市市議会議員就任。2013年より名古屋医専にて解剖学、生理学、微生物学、生化学、健康科学および病理学を担当。

【到達目標】

- ・医学の目指すものは何かを考え、生命の尊厳性、神秘性を実感し説明することができる。
- ・健康がどのようにして障害され、どうしたら予防や回復が図れるか、理解し説明することができる。
- ・医療の本質を説明することができる。

授業計画・内容			
1回目	細胞と生命、遺伝と体質について理解し説明することができる。		
2回目	がんへの対応について理解し説明することができる。		
3回目	病原微生物と感染症について理解し説明することができる。		
4回目	生体防御について理解し説明することができる。		
5回目	生活習慣と疾患について理解し説明することができる。		
6回目	生活環境と健康障害について理解し説明することができる。		
7回目	臓器機能低下について理解し説明することができる。		
8回目	総復習し試験準備をすることができる。		
9回目	試験		
準備学習 時間外学習			
評価方法	1. 定期試験（100％） 2. 小テスト（％） 3. レポート（％） 4. 課題成果（％） 5. 実地試験（％）	評価方法はG P A制度となります 1 0 0～9 0点 S 8 9～8 0点 A 7 9～7 0点 B 6 9～6 0点 C 5 9点以下 F 不合格	医学とは何か、歴史や近年の動向について学びます。
受講生への メッセージ			
【使用教科書・教材・参考書】 コメディカルのための専門基礎分野テキスト 医学概論 改訂6版 中外医学社			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	リハビリテーション医学 (Rehabilitation Medicine)	必修選択	必修	年次	1年	担当教員	理学療法科・作業療法科教員
学科	理学療法科	授業形態	講義	総時間	15	開講区分	前期
コース	昼間部 (Ⅰ部)			(単位)	(1)	曜日・時限	

【授業の学習内容】

- ・リハビリテーション理念と障害を習得する。
- ・リハビリテーション医学の対象となる疾患は、中枢神経疾患、末梢神経疾患、脳性麻痺などの小児疾患、筋ジストロフィーなどの神経筋疾患、脊髄損傷、慢性関節リウマチなどの骨関節疾患、切断、呼吸循環器疾患、疼痛性疾患などである。これらのうち主要疾患について、病態、症状、診断、予後およびリハビリテーションの治療手段の概要を習得する。

【到達目標】

- ・リハビリテーションに関わるセラピストとしてのアイデンティティを確立できるようになる為に、リハビリテーションの歴史、理念、制度、現状を学び、リハビリテーション医学の考え方や、現状をより深く理解し説明することができる。
- ・治療医学とは視点の異なるリハビリテーション医学的な考え方、評価、治療等を説明できる。

授業計画・内容

1回目	リハビリテーション医学・医療の成り立ちと発展について説明することができる。		
2回目	リハビリテーションの理念と障害学について説明することができる。		
3回目	急性期・回復期・維持期について説明することができる。		
4回目	介護保険制度について説明することができる。		
5回目	支援法制度について説明することができる。		
6回目	リハビリテーション工学の概要について説明することができる。		
7回目	リハビリテーション診療の手順について説明することができる。		
8回目	障害者心理と障害受容について説明することができる。		
9回目	試験		
準備学習 時間外学習	理学療法についての理解をしておいてください。		
評価方法	1. 定期試験 (100%) 2. 小テスト (%) 3. レポート (%) 4. 課題成果 (%) 5. 実地試験 (%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	リハビリテーションとは何か、歴史や考え方、近年の動向について学びます。
受講生への メッセージ	リハビリテーションの概念にもとづいて、理学療法士は仕事をするので、リハビリテーションについての考え方を理解してください。		
【使用教科書・教材・参考書】 新版 リハビリテーション医学 第3版			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	チーム医療論 (Interprofessional Care)	必修選択	必修	年次	1	担当教員	阿部 信美
学科	理学療法科	授業形態	講義	総時間	15	開講区分	前期
コース	昼間部 (I 部)			(単位)	1	曜日・時限	金曜 1 限
【授業の学習内容】 多職種との関わりの上ではコミュニケーションスキルが重要になる。実際に患者さんと接する事を想定しながら医療者の心構えを習得する。様々な職種が理学療法士と関わり、リハビリテーションの中でそれぞれどのように専門性を発揮するのかを説明できるようにする。 【業績】 1990年4月総合病院勤務後、在宅までの臨床に携わり、急性期から維持期生活期まで P T として経験する。							
【到達目標】 医療従事者としてリハビリテーションの中の理学療法を学び、多職種の仕事を習得する。また連携とはどういうものか、なぜ連携が必要なのかなどの基礎を学び説明できる。							

授業計画・内容			
1回目	コミュニケーションの重要性が理解できる		
2回目	言語聴覚士との関わりが理解できる		
3回目	歯科衛生士との関わりが理解できる		
4回目	看護師との関わりが理解できる		
5回目	MSW との関わりが理解できる		
6回目	ケアマネージャーとの関わりが理解できる		
7回目	作業療法士との関わりが理解できる		
8回目	地域包括ケアシステムにおける理学療法士の関わりを理解できる。		
9回目			
10回目			
11回目			
12回目			
13回目			
14回目			
15回目			
準備学習 時間外学習	復習としてレポートでまとめ、提出する。		
評価方法	1. 定期試験 (%) 2. 小テスト (%) 3. レポート提出 70 (%) 4. 課題成果 30 (%) 5. 実地試験 (%)	評価方法はG P A制度となります 1 0 0～9 0 点 S 8 9～8 0 点 A 7 9～7 0 点 B 6 9～6 0 点 C 5 9 点以下 F 不合格	
受講生への メッセージ	自分が実習、臨床に出た時を考え他職種の職域を理解してほしい。		
【使用教科書・教材・参考書】 配布資料			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	理学療法概論 (Introduction to Physical Therapy)	必修選択	必須	年次	1年	担当教員	阿部 信美
学科	理学療法科	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	前期
コース	昼間部 (I 部)			(単位)	2	曜日・時限	火曜 2限

【授業の学習内容】

理学療法の理念、倫理、歴史を学び、法的位置づけ、実際の方法論などの概要について理解する。また医療人としての理学療法士はどのような人間性が望まれるのか、実習実技での基本的事項を学ぶ。医学的リハビリテーションの中での役割を理解し、リハビリテーションに関与する他の職種、職域を理解しリハビリテーションチーム医療で取り組む運営方法、また理学療法士として果たす役割について学修する。理学療法の対象となる「障害」についてWHOによる分類であるICFを理解し、理学療法士を目指す者としてどのような能力を身に付けなければならないかを考える。

【業績】1990年4月総合病院勤務後、在宅までの臨床に携わり、急性期から維持期生活期までの理学療法を経験する。

【到達目標】

目標① リハビリテーション、理学療法の位置づけと概要が説明できる

目標② 理学療法の対象となる「障害」について理解し、ICF分類に基づいて障害について説明できる

授業計画・内容			
1回目	科目オリエンテーション 理学療法を知る：ブレインストーミング		
2回目	理学療法に関する定義、法律を学ぶ 理学療法と職業倫理について		
3回目	福祉用具 車椅子 杖について		
4回目	障害体験		
5回目	理学療法士の歴史 Physical Medicin & Rehabiritation		
6回目	理学療法の役割 手段 理学療法の対象・領域		
7回目	理学療法の流れ		
8回目	障害を考える ICF ICIDH		
9回目	理学療法の対象 骨関節疾患 中枢		
10回目	理学療法の対象 内部障害 ガン その他		
11回目	医療保険と介護保険制度について		
12回目	理学療法と管理について インシデント アクシデント		
13回目	感染 手洗いについて		
14回目	理学療法とは 発表1		
15回目	理学療法とは 発表2		
準備学習 時間外学習	予習として教科書を、読んでおく。復習では時講義の中で出てきたわからない単語などを調べる。		
評価方法	1. 定期試験（70％） 2. 小テスト（10％） 3. レポート（10％） 4. 発表（10％）	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	
受講生への メッセージ	必ず各自でノートを用意してください。 課題レポート、文献抄読レポートを課します。未提出の場合は本試験より減点とします。 また、グループでの発表を最後に行いますので、計画を立て講義外での準備をお願いします。採点対象になります。		
【使用教科書・教材・参考書】			
PT入門イラストでわかる理学療法概論 （医歯薬出版）			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	理学療法評価学Ⅰ (Measurement and Evaluation in Physical TherapyⅠ)	必修 選択	必須	年次	1年次	担当 教員	鈴木 和行
学科	理学療法科	授業 形態	講義	総時間	30	開講 区分	後期
コース	昼間部 (Ⅰ部)			(単位)	2	曜日・時 限	金曜日・2限
【授業の学習内容】 臨床実習Ⅱ (検査・測定実習)以降の実習において、症例様の関節可動域を測定する技術は必須となります。その技術習得のために計測方法の知識習得を第一として関節可動域の基本軸、移動軸、参考可動域などを説明できるように学習します。 ＊実務者経験:平成18年4月～平成27年2月まで医療法人寿光会 寿光会中央病院にてリハビリテーション科主任として勤務。平成23年度～平成27年度まで30名の実習生を指導。脳血管リハビリテーション、運動器リハビリテーション、腎臓リハビリテーション、訪問リハビリテーションなどに従事する。							
【到達目標】 臨床実習Ⅱ (検査・測定実習)以降の実習において、症例様の四肢に触れ関節可動域を測定する技術を身につけます。そのための、角度計の使用手法や基本軸、移動軸などの知識を説明できるようになることが必要です。 ＜具体的な目標＞ 目標①関節可動域の測定に必要な基本軸、移動軸、参考可動域を説明できる。 目標②実際の四肢に角度計を当て数値を読むことができる。							

授業計画・内容		
1回目	関節可動域測定について理解できる	
2回目	肩関節の可動域について理解できる(屈曲、伸展、外転、内転)	
3回目	肩関節の可動域について理解できる(内旋、外旋、水平屈曲、水平伸展)	
4回目	肘関節の可動域について理解できる	
5回目	手関節の可動域について理解できる	
6回目	母指・指の関節可動域について理解できる	
7回目	実技試験、課題作成	
8回目	実技試験、課題作成	
9回目	股関節の可動域について理解できる	
10回目	膝関節の可動域について理解できる	
11回目	足関節・足部の可動域について理解できる	
12回目	実技試験、課題作成	
13回目	実技試験、課題作成	
14回目	頸部関節可動域を理解できる	
15回目	胸腰部関節可動域を理解できる	
16回目	筆記試験	
準備学習 時間外学習	(目標①)前提:この授業を受けるには、関節可動域表示ならびに測定法を覚えることが必要不可欠です。 (目標②)さまざまな関節を把持しながら関節可動域最終域を感じるが必要不可欠です。	
評価 方法	1. 定期試験(70%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(10%) 5. 実地試験(20%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格
受講生への メッセージ	魅力:理学療法士が必ず行う評価法の一つです。治療効果を証明するためにも必要な能力になりますので、しっかりと習得しましょう。 授業計画:実技を見せるとともに模倣させることで自分自身に適した技術となるよう反復していく。	
【使用教科書・教材・参考書】		
使用教科書:リハビリテーション基礎評価学 第2版 羊土社 参考書:ROM測定法 MEDICAL VIEW		

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名(英)	基礎運動療法学Ⅰ (Basic Exercise TherapyⅠ)	必修選択	必修	年次	1	担当教員	飯田 博己・河尻 博幸
学科	理学療法科	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	後期
コース	昼間部(Ⅰ部)			(単位)	(2)	曜日・時限	木曜 3・4限

【授業の学習内容】

理学療法の最も大きな柱として運動療法学は位置づけられている。解剖学や生理学、運動学、あるいは病理学などを背景に、理学療法士が得意とする分野である。

運動療法学は主に機能障害、すなわち生物医学的な問題にかかわる理論および技術として発展してきた。

本講義では運動療法の基礎として運動療法の定義や目的、また関節可動域制限や筋機能障害に対する運動療法の種類や手技について取り組んでいく。

【実務経験】2000年に理学療法士免許取得し、総合病院にて整形外科、中枢疾患の患者様を中心に徒手療法を行ってきた。また理学療法士養成校にて運動学・運動療法学・臨床評価学・運動器疾患の理学療法などの講義を担当。

【到達目標】

(目標①) 運動療法の定義や目的について述べるができる

(目標②) 運動療法の実施に必要な基本的原理について述べるができる

(目標③) 関節可動域制限に対する運動療法の種類と意味を理解し、適切に実施できる

(目標④) 筋機能障害に対する運動療法の種類と意味を理解し、適切に実施できる

授業計画・内容

1回目	運動療法について概要を説明できる		
2回目	関節可動域の制限因子について説明できる		
3回目	ストレッチの理論について説明できる		
4回目	ストレッチを実践できる		
5回目	軟部組織モビライゼーションの理論について説明できる		
6回目	軟部組織モビライゼーションを実践できる		
7回目	関節モビライゼーションの理論について説明できる		
8回目	関節モビライゼーションを実践できる①		
9回目	関節モビライゼーションを実践できる②		
10回目	筋力増強訓練の原則について説明できる		
11回目	Quad Setting ex. 等尺性収縮について実践できる		
12回目	徒手抵抗運動を実践できる①		
13回目	徒手抵抗運動を実践できる②		
14回目	自重を用いた訓練を実践できる		
15回目	機器・道具を用いた訓練を実践できる		
準備学習 時間外学習	解剖学・生理学・運動学の知識を基に進めていくので、予め復習しておくこと。		
評価方法	1. 定期試験（70％） 2. 小テスト（20％） 3. 出席（10％）	評価方法はG P A制度となります 1 0 0～9 0 点 S 8 9～8 0 点 A 7 9～7 0 点 B 6 9～6 0 点 C 5 9点以下 F 不合格	
受講生への メッセージ	運動療法学は理学療法の要となる治療法です。解剖学・生理学・運動学の知識を基に治療手技について実践できるようにしましょう。実技中心の授業のため積極的に取り組むこと。		
【使用教科書・教材・参考書】 運動療法学 改訂第2版（金原出版）			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	理学療法学演習Ⅰ (Physiotherapeutics SeminarⅠ)	必修選択	必修	年次	1	担当教員	阿部 信美
学科	理学療法科	授業形態	講義	総時間	30	開講区分	通年
コース	昼間部 (Ⅰ部)			(単位)	(2)	木曜日・4限	
【授業の学習内容】 理学療法に必要とされる解剖学・生理学・運動学の基本である骨学を理解し、筋肉の起始停止作用神経支配を説明でき、動作の解釈ができるようになる。 実務者経験1990年4月総合病院勤務後、在宅までの臨床に携わり、急性期から維持期生活期までの理学療法を経験する。							
【到達目標】 骨の形状、隆起、裂孔などの名称と部位を確認し、説明できる。また、筋肉の起始停止を理解し、筋の走行、筋の触診や作用について説明できるようになる。この講義を基に、次年度に行われる評価学や治療学の理解が深めることができる。							

授業計画・内容			
1回目	骨学：肩甲骨・鎖骨の部位名称を説明できる。		
2回目	骨学：上腕骨の部位名称を説明できる。		
3回目	骨学：橈骨尺骨手根骨の部位名称を説明できる。		
4回目	骨学：骨盤の部位名称を説明できる。		
5回目	骨学：大腿骨の部位名称を説明できる。		
6回目	骨学：下腿骨足根骨の部位名称を説明できる。		
7回目	骨学：脊椎の部位名称を説明できる。		
8回目	筋学：肩甲骨周囲筋の起始停止神経支配作用を説明できる。		
9回目	筋学：肩関節に作用する筋の起始停止神経支配作用を説明できる。		
10回目	筋学：肘関節に作用する筋の起始停止神経支配作用を説明できる。		
11回目	筋学：手関節手指の筋の起始停止神経支配作用を説明できる。		
12回目	筋学：骨盤周囲筋の起始停止神経支配作用を説明できる。		
13回目	筋学：股関節に作用する筋の起始停止神経支配作用を説明できる。		
14回目	筋学：膝関節に作用する筋の起始停止神経支配作用を説明できる。		
15回目	筋学：足関節に作用する筋の起始停止神経支配作用を説明できる。		
準備学習 時間外学習	一度聞いただけでは、理解できないと思います。放課後、空き時間を利用し時間外学習をするように心掛けてください。		
評価方法	1. 定期試験 (80%) 2. 小テスト (20%) 3. レポート (%) 4. 課題成果 (%) 5. 実地試験 (%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	
受講生への メッセージ	骨学・筋学は、とても大切な科目です。覚えることが多いですが、こまめな自己学習を心掛けてください。		
【使用教科書・教材・参考書】			
プロメテウス 解剖学アトラス 解剖学総論運動器系			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名(英)	理学療法学演習Ⅱ (Physiotherapeutics Seminar)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	濱谷 光陽
学科	理学療法科	授業	講義	総時間	30	開講区分	通年
コース	昼間部（Ⅰ部）	形態		(単位)	(2)	曜日・時限	月曜日 3限
【授業の学習内容】 理学療法に必要とされる生理学に用いられる名称を理解し説明することが出来る。 昭和62年に免許を取得し、実務者経験は15年で、総合病院（急性期～回復期）に所属する。主業務は、脳血管障害や整形疾患の術後リハビリテーションを行っていた。 また、老人保健施設など福祉施設にも所属し、高齢者を取り囲む障害・環境を考慮し、在宅復帰に向けたリハビリテーションを行っていた。教育経験は17年であり、「生体の構造と機能」「障害学」などの基礎系科目を担当していた。							
【到達目標】 生理学に用いられている名称用語を理解し、説明することが出来る。また国家試験の生理学分野を解くことが出来る。							

授業計画・内容			
1回目	食道の構造と機能を説明できる。		
2回目	胃の構造と機能を説明できる。		
3回目	小腸の構造と機能を説明できる。		
4回目	大腸の構造と機能を説明できる。		
5回目	肝臓の構造と機能を説明できる。		
6回目	膵臓の構造と機能を説明できる。		
7回目	胆嚢脾臓の構造と機能を説明できる。		
8回目	排尿排便の構造と機能を説明できる。		
9回目	消化酵素・ホルモンについて説明できる。		
10回目	呼吸器の構造と機能を説明できる。		
11回目	酸塩基平衡について説明できる。		
12回目	感覚器（視覚）の構造と機能を説明できる。		
13回目	感覚器（聴覚）の構造と機能を説明できる。		
14回目	伝導路の構造と機能を説明できる。		
15回目	伝導路の構造と機能を説明できる。		
16回目	試験		
準備学習 時間外学習	一度聞いただけでは、理解できないと思います。放課後、空き時間を利用し時間外学習をするように心掛けてください。		
評価方法	1. 定期試験（80％） 2. 小テスト（％） 3. レポート（％） 4. 課題成果（20％） 5. 実地試験（％）	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	
受講生への メッセージ	生理学は、とても大切な科目です。覚えることが多いですが、こまめな自己学習を心掛けてください。		
【使用教科書・教材・参考書】			
系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能1 解剖生理学第9版			

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	臨床実習Ⅰ (Clinical PracticeⅠ)	必修選択	必須	年次	1	担当教員	臨床実習指導者
学科	理学療法科	授業形態	実習	総時間	45	開講区分	前期
コース	昼間部 (Ⅰ部)			(単位)	1	曜日・時限	月～金曜・1～4限

【授業の学習内容】

見学実習と位置付け、学外実習を行います。

各々学生が配置された病院・施設に出向き、臨床勤務している理学療法士の指導のもとで、病院・施設における理学療法の位置づけや役割を学ぶとともに、病院・施設で理学療法士がリハビリテーションを対象者に提供しているかを見て学ぶ。

実習期間は、計6日間（1日：8時間）

【到達目標】

病院や施設の理学療法の実践を学び、医療人を志す学生に必要な行動を身につける。

授業計画・内容

- 1) 職業人としての態度・適正
 - 1-1 時間や約束を守る。 1-2 その場にふさわしい服装や身なりを整える。 1-3 礼儀正しい行動をとる。 1-4 公私を区別する。 1-5 守秘義務を果たす。
 - 2) 対象者および家族と望ましい人間関係を持つ。
 - 3: 必要に応じて関連職種と連携をとる。
 - 3-1 職員、関係スタッフの役割を説明する。
 - 4: 意欲的に取り組む姿勢(探究心・創造性)を持つ。
 - 4-1 疑問点を挙げる。 4-2 必要に応じて質問する。 4-3 自分の意見を述べる。
- 2)記録・報告
 - 7: 記録すべき必要な事項を選択し、記録する。
 - 7-1選択した必要な事項を記録する。
 - 8: 報告すべき必要な事項を選択し、報告する。
 - 8-1報告すべき必要な事項を選択する。 8-2選択した必要な事項を報告する。
- 3) 管理運営
 - 9: 組織の概要を理解する。
 - 9-1地域における施設の役割について説明する。 9-2施設における理学療法士の役割について説明する。 9-3他職種と理学療法士との関係を説明する。
 - 10: 理学療法の過程を理解する。
 - 10-1理学療法の制度について理解する。 10-2指示、記録、診療報酬請求などについて理解する。
 - 11: 管理業務の概要を理解する。11-1備品、カルテ、書類など必要な管理業務を説明する。

準備学習 時間外学習

医療人、社会人として礼儀・マナーを守り実習に取り組むようにしてください。

評価方法

- | | |
|---------------|---|
| 1. 定期試験 (%) | 評価方法はGPA制度となります
100～90点 S
89～80点 A
79～70点 B
69～60点 C
59点以下 F 不合格 |
| 2. 小テスト (%) | |
| 3. レポート (50%) | |
| 4. 課題成果 (50%) | |
| 5. 実地試験 (%) | |

臨床実習施設・指導者のもと、実際の理学療法の評価などを体験する。

受講生への メッセージ

実習施設は学校と契約を交わし、愛知県に登録された施設で実施します。

【使用教科書・教材・参考書】なし

名古屋医健スポーツ専門学校 2025年度 シラバス

科目名 (英)	臨床実習Ⅱ (Clinical PracticeⅡ)	必修選択	必須	年次	1	担当教員	臨床実習指導者
学科	理学療法科	授業形態	実習	総時間	45	開講区分	後期
コース	昼間部 (Ⅰ部)			(単位)	1	曜日・時限	月～金曜・1～4限

【授業の学習内容】

見学実習として位置づけ、各々学生が配置された施設に出向き、学外実習を行います。臨床勤務している理学療法士の指導にもとづき、施設自体の機能やシステム、施設における理学療法の位置づけや役割を学びます。さらに理学療法士が行うリハビリテーションにおける理学療法を学びます。

実習期間は、計6日間（1日：8時間）

【到達目標】

病院や施設の理学療法の実際を学び、医療人を志す学生に必要な行動を身につける。

授業計画・内容

- 1) 職業人としての態度・適正
 - 1-1 時間や約束を守る。 1-2 その場にふさわしい服装や身なりを整える。 1-3 礼儀正しい行動をとる。 1-4 公私を区別する。 1-5 守秘義務を果たす。 2: 対象者および家族と望ましい人間関係を持つ。
 - 2-1 対象者および家族の訴えを聞く。
 - 3: 必要に応じて関連職種と連携をとる。
 - 3-1 職員、関係スタッフの役割を説明する。
 - 4: 意欲的に取り組む姿勢(探究心・創造性)を持つ。
 - 4-1 疑問点を列挙する。 4-2 必要に応じて質問する。 4-3 自分の意見を述べる。
- 2) 記録・報告
 - 7: 記録すべき必要な事項を選択し、記録する。
 - 7-1 選択した必要な事項を記録する。
 - 8: 報告すべき必要な事項を選択し、報告する。
 - 8-1 報告すべき必要な事項を選択する。 8-2 選択した必要な事項を報告する。
- 3) 管理運営
 - 9: 組織の概要を理解する。
 - 9-1 地域における施設の役割について説明する。 9-2 施設における理学療法士の役割について説明する。 9-3 他職種と理学療法士との関係を説明する。
 - 10: 理学療法の過程を理解する。
 - 10-1 理学療法の制度について理解する。 10-2 指示、記録、診療報酬請求などについて理解する。
 - 11: 管理業務の概要を理解する。 11-1 備品、カルテ、書類など必要な管理業務を説明する。

準備学習 時間外学習

医療人、社会人として礼儀・マナーを守り実習に取り組むようにしてください。

評価方法

- | | |
|---------------|---|
| 1. 定期試験 (%) | 評価方法はGPA制度となります
100～90点 S
89～80点 A
79～70点 B
69～60点 C
59点以下 F 不合格 |
| 2. 小テスト (%) | |
| 3. レポート (50%) | |
| 4. 課題成果 (50%) | |
| 5. 実地試験 (%) | |

臨床実習施設・指導者のもと、実際の理学療法の評価などを経験する。

受講生への メッセージ

実習施設は学校と契約を交わし、愛知県に登録された施設で実施します。

【使用教科書・教材・参考書】なし